

國學院大學学術情報リポジトリ

2018年度のCERCとの連携事業について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000549

2018年度のCERCとの連携事業について

日本文化研究所では宗教文化教育推進センター（通称CERC）との連携により、宗教文化教育推進のための教材作成に取り組んでいる。以下では、2018年度の教材開発の成果とCERCの活動について報告する。

（1）宗教文化教育推進のための教材作成について

2018年度は、宗教文化教育推進センター編『解きながら学ぶ日本と世界の宗教文化』が集広舎より出版された。同書は、宗教文化士の受験希望者のみならず一般の読者も対象としたもので、宗教文化士認定試験の過去問を基に作成された。初級3択・中級4択・上級5択の問題で世界の宗教文化が学べるようになっている。日本文化研究所のプロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営および日本の宗教文化の国際的研究と発信」による成果を活かして、宗教文化教育推進センターの運営委員が問題の解説を執筆している。

また、昨年度に引き続き、既に公開している宗教文化を学ぶためのオンライン教材の内容の拡充を図った。

現在公開しているオンライン教材は以下の通りである。

- ①「宗教文化を学ぶための基本書案内」
- ②「世界遺産と宗教文化」
- ③「映画と宗教文化」
- ④「博物館と宗教文化」
- ⑤「宗教文化に関係する基本用語クイズ」

本年度は、②「世界遺産と宗教文化」に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」、「エローラ石窟群」、「ゴアの教会群と修道院群」など

のページを新規に追加した。③「映画と宗教文化」の教材には、「スポットライト 世紀のスクープ」、「神様メール」、「最高の花婿」など近年公開された映画のなかで宗教文化と関連するものを新規に掲載し、情報を充実させた。上記の2つのサイトについてはレイアウトも刷新した。

①、④、⑤についても情報収集を継続して行っており順次教材の充実を図っていく。

さらに②と④についてはスマートフォン向けの地図アプリ「ロケスマ」と連携して、表示される地図上のピンをタップすると公開されている教材へとリンクされるシステムとなっている。「ロケスマ」をスマートフォンにダウンロードしたのちに、トップ画面→「コラボ・イベントマップ」→「宗教文化教育推進センター」と進み、該当マップをダウンロードすることで、使用することができる。

（2）CERCの活動について

2-1. 認定試験の実施

CERCは2018年度、6月17日に第14回、11月18日に第15回の宗教文化士認定試験を行った。第14回認定試験は、東北大学・國學院大学・関西学院大学・皇學館大学・九州大学・天理大学の6会場で行われ、受験者は30名、合格者は22名であった。続く第15回認定試験は、國學院大学と関西学院大学の2ヶ所で行われ、受験者は25名、合格者は16名であった。

第1回試験からこれまでに341名の宗教文化士が誕生している。

2-2.「宗教文化士の集い」の開催

宗教文化士へのアフターケアとして、CERCでは年に一度「宗教文化士の集い」を東京と関西の二か所で行っている。2018年度は「第3回宗教文化士の集い」が10月27日(土)に東京、11月9日(土)に関西で行われた。東京開催の集いでは、後藤絵美氏(東京大学東洋文化研究所および日本・アジアに関する教育研究ネットワーク)による「現代社会におけるイスラームの特徴について、女性との関連から考えること」をテーマとした講演会が行われ、講演会後に参加者たちの懇親の場が設けられた。関西開催の集いでは、さまざまな宗教施設が集まる霊場として知られる生駒のフィールドワークが行われた。大阪国際大学の三木英氏の案内のもと、石切劔箭神社(大阪府)・生駒山宝山寺(奈良県)などをめぐった。懇親会では、フィールドワークの感想を踏まえた活発な意見交換が行われた。東京では20名、関西では16名の宗教文化士(上級宗教文化士を含む)の参加があった。

「宗教文化士の集い」は宗教文化士同士の交流を促すだけでなく、資格取得者の実際の声から、資格の役割や必要なアフターケアについて考えるための機会ともなっている。

2-3. 更新(上級宗教文化士認定)について

宗教文化士資格は取得から5年間の有効期限が設けられており、本年度は第4回・第5回認定試験の合格者を対象とした更新の受け付けが行われた。更新のためには、(a) e-learningによる学習、(b) CERC指定の講演会などの聴講とレポート提出、(c) メルマガの記事をもとにしたレポートの提出、(d) 体験に基づくレポートの提出、の4種から1つまたは複数を選び、計3ポイントが認められることが必要となる。更新が認められると、終身資格の「上級宗教文化士」が与えられる。

第4回認定試験での資格取得者は22名で、そのうち13名が更新のための課題を提出し、

更新が認められて上級宗教文化士となった。第5回認定試験については24名の資格取得者のうち5名が更新手続きを行い上級宗教文化士に認定された。本年度末までに計73名の上級宗教文化士が誕生している。

2-4. 宗教文化士および上級宗教文化士へのサポートについて

CERCでは、宗教文化士の資格取得後も宗教文化に関する情報を得るためのサポートの一環として、「CERCメルマガ」を年に4回発行している。メルマガでは、宗教文化に関わる最新のニュースを解説とともに紹介。また、講演会やシンポジウムの情報も掲載されている。2018年度末時点で、27号まで発行された。さらに本年度からは、年に2回の特別号が発行されることになり、9月に特別第1号、2019年3月に第2号が配信された。特別号には、宗教文化教育推進センターの運営委員によるリレーエッセイ、宗教文化に関わる新刊の紹介、宗教文化士の体験レポート、宗教文化士の集いの報告が掲載されており、さらに充実した情報提供が行えるようになった。

2-5. 参加大学の広がり

本年度は、宗教文化士資格の参加大学として新たに西南学院大学と筑紫女学園大学が加わった。資格に対するさらなる認知の広がりが期待される。

(村上晶)